

平成 30 年 2 月 14 日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 此下 竜矢  
(コード 2388 東証 J A S D A Q 市場)  
問合せ先 開示担当 小竹 康博  
(TEL 03 - 6225 - 2207)

## 営業外収益及び営業外費用の発生に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 9 月期第 1 四半期連結累計期間（平成 29 年 10 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の決算を締め切る過程において、下記のとおり営業外収益及び営業外費用が発生することになりましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益の発生及びその内容（連結）

持分法による投資利益（170 百万円）の発生

当第 1 四半期連結累計期間（平成 29 年 10 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）におきましては、主に Digital Finance 事業において、持分法適用関連会社の業績が堅調に推移していることに加え、平成 29 年 12 月 14 日付「当社の財務諸表に重要な影響を及ぼす販売費及び一般管理費、営業外収益、営業外費用及び特別損失の発生に関するお知らせ」の 2. 営業外費用の発生及びその内容（連結）の（1）持分法による投資損失（5,394 百万円）に記載したとおり、前四半期において、持分法適用関連会社ののれんの前倒し償却を実施した結果、のれんの償却負担が減ることとなり、当四半期の利益に寄与いたしました。

以上により、170 百万円の持分法による投資利益が発生しております。

なお、前四半期に当社が実施したのれんの償却の詳細につきましては、上記平成 29 年 12 月 14 日付の当社適時開示をご参照ください。

#### 2. 営業外費用の発生及びその内容（連結）

為替差損（55 百万円）の発生

当社は、当第 1 四半期連結累計期間において、為替相場の変動により、営業外費用に為替差損 55 百万円が発生しております。当該金額は、主に当社グループの保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価損で発生したものであります。今後の為替相場の状況によりこの額は変動いたします。

#### 3. 今後の見通し

上記につきましては、平成 30 年 2 月 14 日付「平成 30 年 9 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」に反映させております。

以上